

東京都福祉サービス第三者評価(2021年度) 評価結果報告書

2022年3月2日

社会福祉法人八晃会
宝光保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 - 081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋

押印
省略

以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評 価 者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	②	H1501067	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	③	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	④	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	宝光保育園			
事業所連絡先	〒	190-0182		
	所在地	東京都西多摩郡日の出町平井3389-1		
	TEL	042-597-0876		
事業所代表者氏名	荒井 寿美代			
契約日	2021 年	5 月	1 日	
利用者調査票配布日(実施日)	2021 年	9 月	21 日	
利用者調査結果報告日	2021 年	12 月	8 日	
自己評価の調査票配布日	2021 年	9 月	17 日	
自己評価結果報告日	2021 年	12 月	8 日	
訪問調査日	2021 年	12 月	15 日	
評価合議日	2021 年	12 月	15 日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査では、開始時の書面配付やポスター掲示などで保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付し、必要に応じ提出期限を延長するなど、回収率向上にも努めた。なお事業所と協議のうえ、質問には共通項目に加え、独自の項目も設けて調査を実施した。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

<p>1</p>	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人理念「和」和する処であることが法人の存在意義であり、法人の価値です。 ・誓願「幸せはぐくむ宝箱 笑顔・安心・元気」宝光保育園は子ども、保護者、職員、地域の人たちの幸せを育む宝箱のような保育園であり、そこには笑顔・安心・元気があふれている。そんな保育園であることを願い、誓いを表したものが誓願です。 ・保育目標「美しい自然の中で、優しい心と丈夫な体を育む」園周辺の自然の中で、子どもたちがのびのび、様々な経験をしながら優しい心と丈夫な体を育むことが保育目標です。 ・心得「感応道交 脚下照顧 王三昧」人はみな違う。感じ応じなければ道は交わらない。そのためにはまず自らを顧みること、そして自らの役割に自信を持つことが大切である。これを職員の規範としています。
<p>2</p>	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>保育所は入所児童だけでなく、地域の子育てを応援する役割を担っています。様々なご家庭がありそれぞれの事情があるからこそ、相手の立場や思いを優しい気持ちを持って、一緒に考えようとするのが職員にとって最も大切なことであり、同時にその能力を有していることが、当法人の職員として必要な資質だと考えています。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>未来を切り拓いていく子どもたちの成長に寄り添いその育ちに関わること、それは間接的に未来を創ることで。私たちは子どもたちの育ちに寄り添い、保護者の気持ちに寄り添いながら、未来を創る尊い仕事に就いているのだ、という使命感と充実感を持ち、日々研鑽を重ね、地域の中で信頼される保育園を目指すプロ集団の一員としての自覚と誇りをもってもらいたいと考えています。</p>

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯108(在籍児童数139)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。回収は専用封筒を用い、回答者からの弊機関への直接郵送、または同方式と事業所内回収による未開封のままの弊機関への郵送の併用にて行った。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数	139
利用者家族総数(世帯)	108
共通評価項目による調査対象者数	108
共通評価項目による調査の有効回答者数	68
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	63.0

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」63.2%・「満足」29.4%の計92.6%と高い値を得ており、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「整理整頓・清潔」「子どもの気持ちの尊重」など全17問中15問で80～90%台の高い支持を得ている。
 自由意見では「自然の中でのびのびと過ごすことができ、先生方が皆さん話しやすく感じて、何か心配事があれば気軽に相談できて安心して預けられ、意見も柔軟に採り入れてくれる」「園庭に広さがあり、小さなお山にも登れるので子どもがたくさん運動でき、男の先生も多く防犯面も他の園より安心感がある」「連絡帳・欠席連絡がアプリ上で完結し、豊かな自然に囲まれた立地で自然に触れる環境が整っており、先生方がいつも明るくいつでも感じがよく、笑顔の先生方に親も元気をもらっている」「雰囲気明るく、のびのびしているところが好きで、食事のメニューも多彩でとてもおいしそうで、どんだん野山・川に連れていってくれてありがたい」などの声が寄せられている。
 要望などとしては、安全・保健や設備、保護者への子どもの様子の報告や情報発信、保護者の就労・負担への配慮に関するなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	65	1	0	2
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が98.5%、「どちらともいえない」が1.5%となっている。 自由意見は3件で、「家庭内では忙しくてなかなか自然に触れさせたり、思う存分遊ばせてあげたりできないので、保育園での活動は子どもにとってとてもよい体験になっていると思う」「一人ひとりに合わせて活動してくれている」のほか、雨の日の活動のさらなる充実を望む声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	63	3	0	2
「はい」が95.5%、「どちらともいえない」が4.5%となっている。 自由意見は2件で、「保育者目線での制作活動に、子どもの意欲が作品を通じてわかる」のほか、活動内容のさらなる充実を望む声も見られた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	61	3	2	2
「はい」が92.4%、「どちらともいえない」が4.5%、「いいえ」が3.0%となっている。 自由意見は3件で、「いつも家に帰ってくると『保育園のごはんおいしかったー!』『おやつおいしかったよ!』と教えてくれ、家ではあまり食べてくれないので、栄養たっぷりおいしいごはんを作ってくれて感謝である」のほか、メニューや食事の味つけについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	62	3	0	3
<p>「はい」が95.4%、「どちらともいえない」が4.6%となっている。 自由意見は6件で、「自然の中での散歩は虫とのふれ合いや運動にもなり、とてもありがたい」「近くの山(?)で泥んこになって遊ぶ、のびのびと楽しんでいるようだ」「裏山や川で遊んだり、自然とふれ合う機会がたくさんあってよい」のほか、コロナ禍の影響による行事や社会と関わる機会の減少・休止等に言及する声が寄せられている。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	58	4	0	6
<p>「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%となっている。 自由意見は4件で、「体調が悪く、出勤時間の早い夫が急に送ることになっても、当日の朝の電話のみで早くから預かってくれる」「快く引き受けてくれるので、とても助かっている」のほか、受付時の対応・接遇について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	52	13	1	2
<p>「はい」が78.8%、「どちらともいえない」が19.7%、「いいえ」が1.5%となっている。 自由意見は4件で、「外部侵入に関して、以前より改善されていると思う」のほか、安全管理や設備面、感染症対策について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	56	6	2	4
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が9.4%、「いいえ」が3.1%となっている。 自由意見は3件で、行事の日程等における各家庭への連絡について、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	9	1	2
<p>「はい」が84.8%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が1.5%となっている。 自由意見は6件で、「いつもお迎えの際、気軽に先生から話しかけてくれて助かっている」「出会は保育園の先生だったが、今は個人として話させてもらっていて、先生方の普段の心配りの賜物だと思い、ありがたい」「いつも園での様子や家庭での様子など、気軽に相談したりできている」のほか、職員の対応やコミュニケーション機会の確保について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	65	2	1	0
<p>「はい」が95.6%、「どちらともいえない」が2.9%、「いいえ」が1.5%となっている。 自由意見は5件で、「用務の先生がお一人でいつも掃除をしてくれて、とても感謝している」「花・雑草の手入れ、蜘蛛の巣などこまめに掃除してくれていると思う」「職員がお手洗いに入る時は上履きをドアの前で脱いでいるので、廊下や教室など清潔である」「いつもピカピカである」のほか、清掃について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	63	3	1	1
<p>「はい」が94.0%、「どちらともいえない」が4.5%、「いいえ」が1.5%となっている。 自由意見は5件で、「子どもの興味を持てるキャラクターのエプロン等、うれしそうに教えてくれる」「大変丁寧に対応してくれている」のほか、職員の接遇について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	59	6	3	0
<p>「はい」が86.8%、「どちらともいえない」が8.8%、「いいえ」が4.4%となっている。 自由意見は5件で、「いつも丁寧に対応してくれ、とても感謝している」「小さなかすり傷や虫刺されなど、些細なことも報告してくれる」「小さなケガや体調の変化がある時は、必ず詳細に伝えてくれている」のほか、ケガや体調急変等の対応、体調急変時の保護者への連絡について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	45	11	1	11
<p>「はい」が78.9%、「どちらともいえない」が19.3%、「いいえ」が1.8%となっている。 自由意見は3件で、「どちら側の様子も伝えてくれ、安心できる」のほか、子ども間のトラブル発生時の保護者への情報提供について、さらなる配慮を望む声寄せられている。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	65	3	0	0
<p>「はい」が95.6%、「どちらともいえない」が4.4%となっている。 自由意見には「『かわいいカワイイ〜』と接してくれる先生、気持ちを察する早さに尊敬である」の1件が寄せられている。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	10	0	8
<p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%となっている。 自由意見は「守ってくれている中で、見守って支えてくれる対応に助けられた」の1件だった。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	59	7	0	2
<p>「はい」が89.4%、「どちらともいえない」が10.6%となっている。 自由意見は4件で、「虫刺されやちょっとしたケガも教えてくれて、ちょっとしたケガ、元気に遊んでいる証拠である！！」「保育内容の説明は毎回きちんと伝えてもらっている」のほか、子どもの成長発達や日頃の生活等に関する保護者への報告・伝達、説明・伝達の際の環境について、さらなる工夫を望む声寄せられている。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	50	8	1	9
<p>「はい」が84.7%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が1.7%となっている。 自由意見には要望・不満等への対応などについて、さらなる配慮を望む声2件寄せられている。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	41	9	0	18
<p>「はい」が82.0%、「どちらともいえない」が18.0%となっている。 自由意見には記入がなかった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が使命とし、実現を目指す理念・誓願や保育の目標・方針を、保護者に発信している 理念とする「和」、誓願に掲げる「幸せはぐくむ宝箱～笑顔・安心・元気～」には、園に関わるすべての人々の和と幸福を願い、園が人々の笑顔・安心・元気を支える場となることを目指す、法人・園の思いが込められている。また周辺の豊かな自然環境を活かし、子どもたちがのびのびと心身を育む保育活動や、安心して過ごせる環境づくり、それらを通じた豊かで優しく大らかな心の育ちなどを、保育の目標・方針としている。これらはホームページや見学・入園時の説明、年度当初の園便りへの記載や懇談会での保育の紹介などにより、保護者に伝えられている。 法人・園の目指すものを組織内で共有し、職員が日々の実務で実践できるようにしている 職員は上記の法人・園の目指すものを入職時に学ぶとともに、その後の実務を通じて継続的に理解を深めている。また「チャレンジシート」による個別の毎月の振り返りの際に、誓願を日常で体現できたエピソードを各人が記し、思い起こしと日々の実践につなげるほか、昨年度行った保育の環境等に関する検討も、自園の保育を改めて振り返り、その源である誓願・理念等も再確認する機会となっている。年度当初の会議では、園長が園の中・長期及び年度の重要課題や、時間管理の徹底・職員の連携と同僚性の促進など、現場に求めるものを職員に伝えている。 各種の重要案件を検討し、決定事項等を職員や保護者に周知させる手順を整えている 乳児・幼児の各会議で、保育や子どもに関する直近の話題について検討するとともに、経営層その他の要職者が集うリーダー会議や、常勤者と出席可能な非常勤者による職員会議で、それらを共有・整理し、園全体としての検討・決定を行っている。決定事項等は会議録の確認や個別の伝達により、欠席者などに伝えられ、保護者には書面の掲示・配付やアプリでの電子配信により、重要な各種連絡を伝えている。職員自己評価では組織内のコミュニケーション・同僚性について意見も見られ、日々の意思疎通や発信の仕方を含め、課題として対応に努める意向である。	

カテゴリ-2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>「あるべき姿」を掲げる長期計画のもとで、重要課題を示す3か年の計画を作成している</p> <p>平成30年度からの10か年の長期計画が策定されている。前述の理念等を踏まえ、子どもたちがのびのびと過ごし、育つ場となり、保護者の安心を支えるとともに、住みやすい街づくりの担い手ともなることや、それらに取り組む職員が働きやすく、自己実現できる職場の創出を「あるべき姿」として掲げ、成果指標や資金計画の概要も定めている。同計画に対応する3か年の「中期計画」には、「最優先・最重要課題」として園の保育観の確立と人材育成制度の精緻性・実行性向上を挙げるとともに、前述の「あるべき姿」に向けた年度の取組課題を定めている。</p> <p>各重要課題の今年度の取組内容や、年度末時点での目指す状態が定められている</p> <p>中期計画は毎年度更新され、上記の各課題について、前年度までの成果・反省と当年度の実施方針が記述されるとともに、「進行表」に今年度末及び翌年・翌々年の「終了時の姿」と、今年度の具体的な取組内容と担当者が示されている。計画は年度当初に職員に説明され、計画は課題ごとの職員チームの活動として進められており、進捗は会議等で随時報告される。同計画や前年度の実績などを踏まえた年度予算の作成と、収支や稼働率などの経営状況の管理は、園長を中心に業務委託先の会計事務所の支援と経営層による確認のもとで行われている。</p> <p>上記の各計画の作成・評価の参考ともなる各種の情報を、さまざまな方法で把握している</p> <p>保護者の声は行事後のアンケートや懇談会、玄関ホールに設置の意見箱「みんなの声」、上記計画の成果指標ともされる第三者評価受審時の利用者調査など、職員の意向は前述の各会議や個別の面談のほか、評価受審時の自己評価、園内研修での話し合いや「質の向上」チームによる意見募集などから把握している。また見学者や地域子育て支援事業の利用者の声、町・地域の保育所園長会その他の関係者会議、自治体や加盟する各種団体の研修会・発信物などから、地域の保育・福祉ニーズや関連の制度・政策等の動向が把握されている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
当園の職員として守り徹底すべき規範・倫理について、職員への啓発がなされている 「保育マニュアル」に、社会人としての各種心得や子どもへの適切な関わりの徹底、守秘義務や子どものプライバシー保護など、当園職員として守るべき規範・倫理が定められ、職員は入職時にこれら学び、日々の実務で徹底することとなっている。各職員が毎月行う振り返りにも、子どもへの不適切な関わりの排除について確認項目が設けられているほか、年度当初に全職員が自己評価を行い、子どもの人権・尊厳や保護者の保育観・育児観などの尊重、日々の保育実践と子どもとの関わり、不断の自己研鑽など、保育者としての姿勢・態度等を確認している。		
園内・家庭内での子どもの虐待の防止や、保護者の意向への対応の仕組みを整えている 上記に加え、子どもの権利擁護に関する園内研修を例年設けており、直近の実施では、子どもの権利条約に関する資料や保育士団体作成のチェックリストなどをもとに、園長がいわゆる不適切保育の防止について啓発を行っている。また町の子ども家庭支援センターとは、毎月の担当者来園など、要保護児・家庭への支援に関する連携が図られ、関連の町のガイドブックも常備している。苦情解決制度の保護者への周知や玄関への「ご意見箱」の設置、前述の「みんなの声」を通じた保護者の提案・質問や要望等の募集など、保護者の声の把握と活用にも努めている。		
地域福祉の担い手として、コロナ禍の中でも園の情報や機能の発信・提供に努めている ホームページや門扉横の掲示板、町の広報等の活用、町役場でのレシピ集配布など、地域への情報・専門性の発信のほか、実習生や都立高のインターン生の受け入れも行っている。例年活発に行う地域貢献活動は、コロナ禍発生後は社会状況等を見つつ定員を絞って実施し、各種行事への参加や毎月の誕生会、親子での体操・音楽遊び、子育て家庭同士の語らいの場や乳児世帯向けのインファントマッサージ教室など、多様な企画を設けている。町・地域の保育所園長会や町内の福祉施設の共同体「ハートワーク」など、地域内のネットワークの活動にも関わっている。		

4	カテゴリー4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー1(4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
			5/5
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
	評点(00000)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2(4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		4/4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
評点(0000)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリー4の講評			
<p>各種感染症などの保健面のリスクへの対策や、災害・侵入への備えに努めている</p> <p>換気の徹底とさまざまな場面における「密」防止の配慮、職員・来園者のマスク着用と手指消毒・検温、各所の清拭・消毒など、新型コロナウイルスへの対策に注力するほか、看護師による嘔吐処理の訓練や感染症予防に関する園内研修、子どもの睡眠時の状態確認などのSIDS対策や夏季の熱中症予防など、保健面の各種リスク抑制に努めている。毎月の避難訓練実施と毎年度のBCPの更新、園の立地環境も踏まえた台風・土砂崩れ対策の検討のほか、侵入と戶外での遭遇を想定した不審者対策訓練や電子錠・防犯カメラの設置などもなされている。</p> <p>各種事故の予防・再発防止の活動や、将来の事業継続に向けた検討にも取り組んでいる</p> <p>保育中の事故・ケガの発生後には、終礼での職員への周知と注意喚起のほか、担当者と経営層による原因・対策の検討を行っている。事例は軽微なものも含めて集計を行っており、情報を傾向把握などに活かすことも期待される。またヒヤリハットは主に終礼で報告・周知を行っており、把握と共有のさらなる活性化を課題と考えている。地域内の少子化の進行と利用ニーズ縮小を経営上のリスクととらえ、主にリーダー会で話し合いを続けており、園の価値や魅力のより効果的な発信に向け、広報活動の促進や、園内研修での園の特色・長所の検討に取り組んでいる。</p> <p>各種情報の適切な利用と漏洩防止のため、環境整備や関係者への啓発を行っている</p> <p>個人情報保護規程に、開示・訂正等の請求への対応を含む個人情報の管理・利用に関する規定を明記するほか、新人向けのOJT資料や前掲の「保育マニュアル」にも、各種情報の取り扱いや機密保持に関する定めを記載し、職員にはその確認や誓約書提出により、適切な運用の徹底を促している。また重要書類の施錠管理や電子情報・端末類のパスワード等による利用制限など、漏洩防止のための環境整備にも努めている。保護者には入園時に個人情報の利用目的や開示請求対応等を説明し、実習生等には活動開始前に守秘義務の厳守を求めている。</p>			

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	
	<input type="radio"/> 非該当	

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p>職員の育成・キャリア形成の目安を定め、人材の確保と適材適所の配置に努めている</p> <p>人材の確保は実習からの継続採用のほか、園公式サイト上の情報発信と問い合わせ受付、必要に応じた採用関連業者・機関の活用などによって行っている。また当園も加わる前述の町内の福祉施設関係者有志のネットワーク「ハートワーク」が、共同運営サイトの設立準備を進めており、当園の採用情報の発信にも活用される予定となっている。「職位表」に新人から管理職までの望まれる能力や研修受講・経験年数などの目安が示され、配置は各人の意向と経営層の期待する成長・役割、各クラスの保育の安定やチームでの保育実施などを考慮して決定している。</p> <p>各職員の成長を園の目指す姿の実現につなげる、個別の育成の仕組みが設けられている</p> <p>各職員が「チャレンジシート」により、自身の強み・弱みや期待される役割・仕事などを踏まえ、3か年と年度の目標・取組、得るべき学びを設定して、実践と半期ごとの振り返りを行うとともに、その毎月の進捗と子どもへの適切な関わりの徹底、誓願の実践などの自己点検を実施している。目標・取組は前述の理念・誓願や重要課題を念頭に設定され、個人と園の成長を連動させる仕組みとし、園・職員の負担抑制などを考慮した運用方法等の見直しも検討している。また新人職員には主任・副主任の個別指導や、先輩職員によるOJTの仕組みが設けられている。</p> <p>職員主体のさまざまな取組が、学びの充実や保育・業務の質の向上につなげられている</p> <p>職員の各種研修の履修と、報告書等の供覧や会議での報告による共有が随時なされ、園内研修では園の強みの明確化をテーマに話し合いを重ね、「質の向上」各チームによる現場の声も踏まえた改善や学びの活動も行われている。また年功等によらない柔軟な登用、前述のレシピ集やホームページの制作担当者へのプレゼント贈呈など、職員の意欲向上に努め、職員同士で仕事を助け合う「お助けボード」、担当チームによる終礼での各人の残務状況の確認、通常勤務外の労働の他の時短勤務への振り替えによる総労働時間抑制など、職場環境改善にも努めている。</p>		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>昨年度は経年の課題である園としての保育観の確立を課題の一つに挙げ、園内研修の年間のテーマに据えて取組を続けた。前述の「中期計画」中でも「最優先・最重要課題」の一つとされており、一昨年度には保育環境について、外部の有識者を招いての勉強会や各クラスでのグループ討議による改善検討などを行っており、その成果も踏まえ、年齢ごとの保育のほか、行事や食事・食育についても話し合いを行った。</p> <p>月ごとに対象年齢・分野を決め、各クラス・専門職がそれぞれの月の担当として企画と資料の作成を行う形で進めた。毎回、自クラス・分野の日頃の取組を紹介したうえで、それぞれの担当が提示する事例や課題について、グループ討議形式で職員が複数の小グループに分かれ、話し合いを行った。グループ討議では事例について子どもへの関わり方や環境設定などを考察したり、現状をよりよくするための改善案などを検討するなど、実践に根差した観点で、担当クラス・分野を横断する視点で議論を深めることを目指した。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>各グループのメンバーは担当のクラス・職種を超えた構成とし、多様な視点からさまざまな意見が出るようにした。話し合いは、担当者には客観的な視点からの気づき、担当外の職員には、自身の担当以外のクラス・職種の保育や業務を知る機会となり、またその後の現場での実務に活かすことのできる提案や改善策もさまざまに出されている。</p> <p>取組は自園の保育の特色や全体像を各職員が再認識する機会となった。これを活かし、今年度は自園の「アピールポイント」をより明確にすることを旨とし、引き続きグループ討議形式での園内研修に取り組んでいる。コロナ禍によって、園の保育を保護者や地域に伝える機会が少なくなっていることに加え、地域内の少子化の進行などによって、今後の定員確保の困難化も想定されていることから、自園の特色や魅力をより効果的に内外に発信していく必要性が認識されており、改めてその検討に取り組むこととした。取組の成果をもとに、在園世帯や地域の子育て家庭に園の保育を発信する広報物を作成し、内外に配布していくプランも進められている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

中期計画では令和3年度末までの時間外労働ゼロの達成を「継続取組課題」としており、昨年度は時間外労働の削減を目的とした取組を行った。
 日常の業務のうち、時間外労働が生じがちなものを見直しを行う必要性が認識されており、主任・副主任及び乳児・幼児の各会議で業務内容の点検を行い、会議で確認することに取り組んだほか、夕方の終礼の際に各人の残務状況を確認し、声をかけ合うなどして相互の協力を促すことで、効率的な業務消化につなげる取組も行った。
 また「質の向上A」チームを中心に、出勤当番の仕組みの再編を行い、各人の働き方や家庭の状況等に応じた勤務負担の平均化を図るほか、運動会の準備や当日の勤務体制・職員の動きの見直しなども行った。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

折からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、行事開催のあり方も再検討を余儀なくされたが、結果としてそれも準備や当日の開催等に費やされる現場の時間や作業の見直しにつながっている。同様にコロナ禍への対応としての感染防止対策のため、給食提供時も職員が子どもと喫食をともにするのではなく、別室で食べる仕組みに変更したことで、そのための休憩時間の確保にも結びついている。時間外業務の縮減についても、各人が日常的に意識するとともに、日中の保育の中でもそれぞれが隙間時間などに事務作業や他の業務を消化するなど、業務の効率化が進められたことで、成果も得られつつある。
 中期計画では今年度の取組として、「保育方針に照らして、保育実践における要不要の仕分けを行う」と、「ICTソフトの活用を行ない業務負担の軽減と効率化に継続して取り組む」ことを挙げている。また時間外労働の抑制を図るうえでは、行事に向けた準備の過程の業務や職員の休暇確保なども考慮する必要が認識され、これについても検討を続けている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
	サブカテゴリ-1の講評	
	<p>各種の媒体を通じて、園の概要や特色、多様な取組に関する情報提供を行っている</p> <p>園のパンフレット「入園案内」には、豊かな自然に囲まれた環境を活かした心身の育みを謳う保育目標や、季節ごとの行事や子どもたちの日々の活動など、園の概要や特色を掲載している。また地域子育て支援事業に関するチラシも準備しており、これらを入園希望者・見学者に配付している。また園の門扉横の掲示板、町のホームページや担当課窓口、町報での情報発信を行うほか、おすすめのレシピや食生活に関する質問と栄養士の回答をまとめた冊子を新たに作成し、園の玄関及び町役場に常備して、保護者・地域の方々が持ち帰れるようにしている。</p> <p>園のホームページでは、より伝わりやすい工夫と多様な情報の公開がなされている</p> <p>園のホームページが今年度刷新されており、理念や保育に対する思いについて象徴的な言葉と写真を添えて説明されるほか、その一端となる様子を映像を用いてより伝わりやすい工夫がなされている。園での一日や食事のこだわり、園舎・各部屋の環境、園周辺の自然豊かな山の散歩道や公園も写真とともに紹介されるほか、子どもたちの活動や行事などの様子が園のお知らせとして随時公開されている。また入園者向けの説明資料「入園のしおり」、財務諸表その他の法定の開示資料、地域貢献・子育て支援の取組など、多様な情報が入手可能となっている。</p> <p>感染状況に応じて見学を受け入れ、希望者の意向を踏まえた丁寧な説明を心がけている</p> <p>新型コロナウイルス感染症の推移や行政の方針などを踏まえ、一時中断を行うことがあるが、通常は電話での予約を基本としつつ、できる限りの随時の受け入れを行っている。また予約調整の際には保護者の見たいことや気になることなどを確認したうえで、それぞれの希望に応じた時間での対応を行っている。当日は実際の子どもの活動や食事の様子などを見てもらうとともに、質問に適宜答えたり、園の特色的なひろばでの活動などを紹介したりしている。その他、「ゆっくり話そう」等の子育て支援開催後には、希望者の園内見学にも応じている。</p>	

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>新入園の保護者に対し、利用開始にあたっての重要事項を説明している</p> <p>新入園の保護者に対して、「宝光保育園のしおり」等をもとに利用開始にあたっての重要事項を説明している。理念・保育目標や保育の特色、給食や健康管理、行事予定等に関する内容のほか、予防接種や食物アレルギー、保護者への連絡や保育時間・延長保育などの仕組みを知らせている。また疑問点や不明な点等があれば、当日及びその後も含めて対応するなど、丁寧な説明に努めている。なお、園庭開放等に参加した入園内定者には事前に「しおり」を渡し、目を通してもらったうえで面談に臨んでもらうなど、時間の短縮や負担軽減の配慮を行っている。</p> <p>面談での書類の確認と保護者への聴き取りによって、子どもの状況の把握を行っている</p> <p>入園前には保護者が提出する書類の確認や面接様式をもとに聴き取りしており、子どもの家庭での健康面や既往歴、食事・排せつ・睡眠などの生活状況のほか、保護者の要望や方針などについて把握している。各種の情報は乳児・幼児の会議や職員会議等を通じて、園全体で共有を図り、一人ひとりの特性に応じた入園後の支援・配慮に活かしている。また面談の際には1週間程度を目安として短時間の保育から徐々に時間を延ばしながら子どもの園生活への順応に配慮する「慣らし保育」の実施の有無等について、保護者の就労等の都合を相談のうえで決定している。</p> <p>入園後や利用終了時・後の環境変化において、子ども・保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>入園直後の保育時間や状況が子どもによって異なるため、送迎時に保護者に様子を伝えたり、意向を聴き取ったりして、それぞれの状況に合わせた日程変更等の柔軟な対応に努めている。また希望する保護者を対象として離乳食が開始する時期に、園で実際に食べる様子やその内容を見てもらい「もぐもぐ体験」を設けている。利用終了時、希望者には就学前支援シートの作成や面談等を通じて、就学に向けた保護者の不安軽減に配慮するほか、その後の関係継続として例年行う卒園1年目の同窓会は担任からのメッセージの送付に代え、近況を知らせている。</p>			

サブカテゴリ3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>保育に必要な子どもと家庭の情報の収集を行い、保護者との連携にも努めている</p> <p>生活状況や発達など保育に必要な子どもや家庭の情報は、入園時に提出される書類のほか、個別に行われる面談により収集している。また離乳食やミルクの状況・アレルギーなどについても、この機会に尋ねることとしている。保護者との個人面談は希望者を募るほか、必要を感じた家庭には声をかけて行うなど随時機会を設け、園での遊びや生活の様子を伝えたり、保護者から要望や意向を聴き取っている。これらの情報を記載した書類は、園児1人につき1冊のファイルを用意し、まとめて綴ることで、保育者が振り返りを行いやすくなるよう工夫している。</p> <p>全体的な計画を踏まえて、長期・短期の各指導計画を作成している</p> <p>保育の全体的な計画は園長が作成し、保育方針や目標に加え、養護と教育に基づく項目ごとに各クラスの目標を定め、年・月・週単位の指導計画に反映させている。年間指導計画は3か月ごと4期の構成とし、期ごとにそれまでの保育を振り返って計画との整合や評価を行っている。月の計画は、毎月クラスごとに行われる月案会議において保育運営や指導計画の内容について話し合い、作成することとなっている。また子ども一人ひとりの様子や発達状況について職員間で共有し合い、0～2歳児に対して作成する個別指導計画の検討も行われている。</p> <p>子どもの状況等を職員間で共有し、保護者に懇談会や園便りで園の保育を伝えている</p> <p>乳児会・幼児会では、1階と2階のフロアごとに職員が集まって保育や環境構成等について話し合い、月に一度行われる職員会議にはなるべく全職員が出席することとし、各種情報の共有や大型行事についての検討がなされている。また各クラスに子どもの発達状況や体調の変化などを記載する情報ノートがあり、毎朝閲覧することになっているほか、終礼や業務日誌の各自閲覧等により、職員間での情報共有に努めている。懇談会では年間指導計画に定めたねらいを保護者に伝えるほか、毎月の月案に定めたねらいや子どもの様子を園便りで発信している。</p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>日々の保育の各場面で、子どもの羞恥心に配慮し、プライバシーの保護に努めている</p> <p>ベランダで水遊びをする際には、柵を目隠しで覆い、シャワースペースの周りにテントを張るなど、外からの視線を遮るようにしている。またおむつ交換台は外から見えない場所に設置し、子ども用のトイレには衝立で分かれた個室が用意されており、身体測定や内科検診は服を着たまま実施するなど、子どもの羞恥心に配慮している。個人情報の取り扱いについては、「園のしおり」に記載して入園時に保護者に説明するほか、収集した個人情報は当該個人の承諾なしに第三者に提供しない旨を規程に定め、ホームページにも記載している。</p> <p>個別の状況の把握と配慮、子どもの気持ちや意思を尊重した援助を心がけている</p> <p>日々の送迎時の会話や連絡帳のやり取り、入園時及びその後の面談等を通じて、それぞれの家庭の状況や育児の方針などを把握しており、必要な情報を会議で共有して、子どもの生活面を中心とした保育や個別の援助の参考とし、全体での見守りに努めている。昨年度の園内研修では環境を学ぶ中で大人の子どもの関わりや配慮などについても振り返る機会となっており、これを活かしながら日々の保育にあたっては各クラスで子どもの気持ちや意見を聴き、行事等を進めてゆく経験が得られるような支援を行うことを意識している。</p> <p>保護者支援や虐待防止に関して、組織内での研鑽と認識共有を図っている</p> <p>虐待に関するガイドブックを事務室に常備するほか、日頃の様子で気になる変化が見られた場合には関係機関との連携や日々の会議で報告・共有を行うこととしている。今年度は東京都が作成した体罰の禁止に関する動画を確認するほか、保護者支援に向け、アンガーマネジメントの研修を受講し、相手の気持ち・状況を受容することの知見を高めている。また園内研修においては子育てに悩む方の対応について、それぞれが考えて自らの言動を振り返ったり、グループごとで意見交換をしたりして保護者への寄り添いや適切な配慮について理解を深めている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
6	事業所業務の標準化	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>運営や保育に必要な考え方や手順などを示し、会議の場や随時での確認を行っている</p> <p>運営・保育の全般的な内容をまとめた「保育マニュアル」を整備している。同マニュアルには登降園時の対応や早番・遅番業務、見学対応など場面・時間帯ごとの業務手順、乳児・幼児ごとの朝の自由遊びや午睡、園庭遊び・おやつ提供、授乳やおむつ交換といった保育の場面別の対応、個人情報の管理や人権尊重といった職員の倫理・規範などの内容をファイルにまとめ、事務室や各クラスに常備して必要時に確認ができるようにしている。また会議の際にはマニュアルの内容や実践形式で確認したり、必要なものは現場での掲示を行うなどして活用している。</p> <p>各種のマニュアルや仕組みの継続的な見直しと工夫に取り組んでいる</p> <p>各種のマニュアルの見直しや更新については、行政等の通知やガイドラインの改定を踏まえて行っている。また「質の向上」チームが中心となり、安全・衛生面を中心として内容の確認と見直しに取り組んでおり、年度途中からは職員会議での読み合わせに代え、現場の運用状況の確認と課題点の抽出を効率的に行いながら、適宜改定・更新を行っている。また昨年度に実施した園内研修の学びを活かし、子どもの静と動の活動の保障ができる環境づくりと活動の充実に向け、場所の区分のみならず、音の配慮ができる仕切りの導入の検討が進められている。</p> <p>身近な声を積極的に集め、具体的な検討・改善に取り組む機動的な仕組みを整えている</p> <p>定期的に行われる第三者評価に伴う利用者調査や行事後のアンケート、「みんなの声」のボード等等、保護者の声を積極的に把握し、園運営や各種業務の見直しの検討や改善に役立てている。また職員の意見・提案についても園内研修や会議、日々の会話などで把握し、コロナ対策や行事内容の工夫、朝礼から終礼への変更など、具体的な取組へと機動的に反映させる仕組みを整えている。また園内研修での園の良さや特色の振り返り、「質の向上」チームによる業務効率化やマニュアルの見直しなど、現場主体での各種の改善活動も進められている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>発達評価や個人別計画の作成など、より細やかな発達援助を図っている 子ども一人ひとりの発達状況は、年齢に応じた指標をもとに養護と教育に基づく項目を設け、できた時にチェックを入れて評価を行うこととなっている。特別な配慮が必要と見られる子どもに対しては、個人別の支援計画を作成している。会議において遊びの様子や生活態度など子どもの様子を共有し、町の心理相談の機会に得られた情報や知見を計画に反映させ、日頃の保育につなげるようにしている。また必要に応じて保護者に個人面談を呼びかけるほか、園の職員が保護者が外部機関に通う際に同行するなど、より細やかな発達援助に努めている。</p> <p>異文化への関心を喚起し、子ども同士のトラブルは個々に応じた対応を心がけている 今年はオリンピックの機会を活用し、日頃から子どもとの話題にも採り上げるほか、クリスマスやハロウィンなどの際には由来となる外国の文化を話している。また保育室には国旗の図鑑や地球儀を設置し、外国の挨拶や歌、生き物を紹介するなど、子どもたちの異文化への興味の伸長を促している。けんかや玩具の取り合いなどの子ども同士のトラブルの際には、年齢や発達に応じて細やかな対応を心がけている。自分たちで解決できるよう見守るほか、必要に応じて職員が仲裁に入り、互いの考えを聴き取るなど、子どもたちの納得を引き出せるよう努めている。</p> <p>小学校就学を見すえ、円滑に接続できるようさまざまな取組が行われている 5歳児の保護者との個人面談では、就学に向けての課題の洗い出しや要望・意向の把握に努め、懇談会では情報発信や質疑応答などを通じて共通理解の形成を図っている。5歳児の年間指導計画には、集団生活など小学校生活を見すえた内容を積極的に盛り込み、持ち物の管理や時間の意識など、1年を通して計画的に育ちを促している。また諸君が地域の連絡会に参加し、近隣の小学校と情報交換を行っている。例年は5歳児がそれぞれ自身が進学する小学校を訪問し、授業風景の見学や、教材に触れたり給食を食べるなどといった体験が行われている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの状況を聴き取り、降園時には園での様子を積極的に伝えている</p> <p>家庭での子どもの様子や体調などは、登園時に保護者から口頭で聴き取るほか、連絡帳の内容を確認し、把握に努めている。降園時にはその日の子どもの様子等を対面で直接保護者に伝えるほか、保育室の前の廊下や外の掲示板にその日の活動内容を文章で掲示している。また口頭で直接伝えることが難しい話がある時には、別室に案内して伝えたり帰宅後に架電するなど、個別の対応を行っている。朝の受け入れ時に得られた特記事項や遅番職員への伝達は専用の伝達表を用いて共有し、伝達事項にチェックを入れて確認するようにしている。</p> <p>保護者との連携に努め、日々遊びの中で基本的な生活習慣が身につくよう取り組んでいる</p> <p>子どもの基本的な生活習慣は、入園の際に発達状況の把握に努め、一人ひとりの発達の状態に合わせて獲得できるよう、関わり方を工夫している。送迎時の会話や連絡帳等により保護者との連携を図り、子どもの状況に応じてトイレトレーニングを呼びかけたり、大きめの服や伸縮する素材を使用している服など、着替えやすい衣類の準備を依頼している。また箸でつまんで遊ぶ玩具など、指を使うものを用意したり、ままごとの中で着せ替えごっこなどの遊びを通じて着脱に必要な動作を学ぶなど、日々の遊びの中で基本的な生活習慣が身につくよう支援している。</p> <p>子どもの体調等の把握を図り、個々の生活リズムに合わせた休息がとれるようにしている</p> <p>連絡帳や日中の様子等から健康状態の把握を図り、個々の状況に合わせた休息がとれるよう努めている。眠れない子どもや早く目の覚めた子どもには、職員がそばについて安心できる雰囲気を作るほか、部屋の隅で静かに遊べるようにしている。保育室にはソファやカーペットを設け、これらの場所をパーティションで区切るほか、園庭に椅子を用意するなど、遊びの途中でも疲れを感じたら気軽に休息がとれるよう工夫している。5歳児は冬頃から徐々に午睡の時間をなくしていき、小学校就学を見すえた生活リズムが身につくようにしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自発的に遊びを選び、集中して過ごせる保育環境の構築を図っている</p> <p>園での日常生活は、天気の良い日は園庭や散歩など積極的に戸外に出ており、雨天や夕方、活動の合間などは室内で自由に過ごせるようにしている。玩具棚には収納してある玩具の写真が貼ってあり、傾斜をつけて玩具を取り出しやすくするなど、子どもたちが遊びの選択や片づけが円滑にできるよう工夫している。また制作途中のブロックなどを保管する場所を設け、遊びに連続性を持たせている。使用されている棚やパーティション等には職員手作りのものがさまざまにあり、製作には子どもも加わることにより、ものを大切にする心を育てている。</p> <p>日々の生活の中で文字や言葉に対する感覚を養い、表現活動を楽しめるようにしている</p> <p>日々の生活の中で応答的な関わりを心がけ、気持ちの表現・代弁や子ども同士での会話を起点として、言葉に対する感覚を養えるようにしている。絵本や図鑑にも親しみ、劇遊びや、地域の図書館の職員を招いて紙芝居の読み聞かせ等を行う「おはなしかい」の実施など、文字や言葉に触れる機会をさまざまに設けている。自然活動の中で採取した落ち葉や木の実などの自然物を使った絵画・制作活動も行い、秘密基地作りや見立て遊びなどのほか、園庭にラジカセを設置して音楽や踊りを自由に楽しめるようにするなど、多様な表現活動が展開されている。</p> <p>多様な集団活動の実践により、人間関係の基礎の構築を図っている</p> <p>カードゲームや鬼ごっこなどルールや勝ち負けのある活動が行われ、枠組みのある中で遊ぶ楽しみを伝えている。また散歩等の際には信号の見方や道路の歩き方などを伝え、近隣の警察署の職員を園に招き、交通安全指導を行ってもらうなど、日々の生活の中で決まりごとの大切さに触れる機会を設けている。保育室は歳児別に分かれているが、散歩先や園庭では異年齢での活動が展開されているほか、3歳以上児が各保育室を自由に行き来できる「わくわく遊びデー」の実施など、幅広い年齢の子どもたちが互いに関わり、刺激し合う場を積極的に設けている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事等は大人も子どもも楽しく意欲的に参加できるよう、さまざまに工夫している</p> <p>発表会の演目や使用する曲、配役などは子どもたちから希望を採り、小単位のグループを構成してやりたいことに取り組めるようにするなど、子どもたちの意欲的な関わりを支援している。ハロウィンの行事では、簡単な加工で仕上げられる衣装素材を多様に用意したコーナーを設け、子どもたちが自分で衣装や小物を作る制作会とし、自由に作ったものを着用して楽しむ企画としている。クリスマス会では園内にツリー等の装飾を施して雰囲気盛り上げ、職員による出し物やカードのプレゼントを用意するなど、職員も子どもも楽しめる内容となるようにしている。</p> <p>子どもたちが集団で取り組み、協力してやり遂げる体験ができる行事等を企画している</p> <p>一日中年長児のために行われる「年長児デイキャンプ」では、部屋にテントを張ってのキャンプごっこや、調理済みの食材を網の上で温めて食べるバーベキューごっこ、水遊びやシアター会など、夏の雰囲気をさまざまに楽しめる行事を企画している。運動会や発表会では、年齢に応じた集団での取組を通じて成果に対する達成感を味わうことを目的としている。体操や団体演技等のほか、玉入れなど友達と協力し合って取り組む競技、合奏や合唱、劇など、集団で一つのを創り上げる演目などを多様に設けている。</p> <p>地域や保護者と交流する機会を、行事等を通じてさまざまに設けている</p> <p>「ふれあい動物園」では園内に移動動物園を招き、さまざまな動物とふれ合うとともに、近隣の住民も招いて地域交流の場ともなっている。年に一度行われる「親子ハイキング」では、道中の自然を楽しみながら、園で行われている保育活動を発信し、保護者との共通理解を形成する場ともなっている。運動会や発表会では、家庭ごとに人数を決めて参観を受け入れている。保護者が参加する行事では、行事後にアンケートを実施し、集計結果や意見等は以降のより良い行事の実施に向けて参考とするほか、重要な質問や重複する意見等に対しては回答を配付している。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>一日を通じて動と静の活動を織り交ぜ、園生活を楽しく過ごせるよう配慮している</p> <p>月間の指導計画に延長保育に関する配慮点を定めている。積極的に園庭や散歩などの戸外に出るほか、保育室で落ち着いて遊べる環境構築に努めるなど、一日を通じて動と静の活動を織り交ぜながら、園での生活を楽しく過ごすためのさまざまな配慮を行っている。また夕方以降は暗くなって普段とは雰囲気の違い園舎内を探検したり、廊下でキャッチボールをするなど、特別感を感じられるよう工夫している。18時半以降も園に残る子どもには、せんべいなど、夕食に与える影響を抑えつつ空腹を満たせるよう配慮された補食を提供し、不安の軽減等を図っている。</p> <p>子どもたちが寂しさを感じずゆったりと過ごせるよう工夫している</p> <p>夕方など園に残る子どもの人数が少なくなった時には、1階と2階にいる子どもたちが合流し、一人ひとりが安心して過ごせるようにしている。その際には保育室の遊び場所をコーナー分けすることで、慌ただしい雰囲気にならないようにし、子どもたちが走ってぶつかったりすることのないよう、安全面に配慮している。0歳児はなるべく0歳児の保育室で過ごすようにし、気持ちの安定に配慮している。また職員が寄り添って努めて明るく接するなど、園に残る人数が少なくなることにより、子どもたちが寂しさを感じたりすることがないように工夫している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもたちが落ち着いて食事ができるよう、工夫と検討を重ねている</p> <p>食事の席は、新年度当初は進級児と新入園児を分けるなどして子どもの気持ちの安定を図り、子どもたちの状況を見て自由席とするなど、落ち着いて食事ができるようにしている。食事の時間には栄養士が日々保育室を巡回して喫食状況を確認するほか、巡回時に食事マナーや食具の使い方等の指導も行っている。また職員も子どもたちと同じものを食べており、提出される意見等も採り入れ、切り方や味付けなどの検討を行っている。子どもの体調等に不安がある時には、家庭に確認したうえで牛乳を控えたり揚げ物を少なめにするなど、個別の対応を図っている。</p> <p>離乳食やアレルギーなど、子どもの状況に応じて個別の対応を行っている</p> <p>送迎時の会話や「食材確認表」を用いて、家で食べたことのある食材や調理形態等を確認し、家庭と共通理解の形成を図ったうえで離乳食を進めるようにしている。食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の診断に基づき、個別の対応を検討している。食事を配膳する際には、専用のトレーと、園児名や除去食材の書かれたプレートを使用し、栄養士と保育士が献立表と照合確認を行っている。また、ピンクのエプロンを着けた職員がそばにつき、布巾は専用のものを用意し、お代わりは他の子どもとは別に設けるなど、誤食の防止に努めている。</p> <p>身近な環境を活かした食育活動を行い、子どもたちの食への関心を深めている</p> <p>好き嫌いのある子どもには無理強いせず、食経験を重視してなるべく多様な味を知ることができるよう、関わり方を工夫している。主に夏季に栽培活動を行い、収穫した野菜は、素材を活かして簡単な調理を行いその場で食べたり、給食でも食材に加えて味わえるようにするなど、食を身近に感じられるようにしている。また山で採れた草イチゴを加工してジャムを作るほか、「年長児デイキャンプ」でおにぎりを作るなど、調理や食材を加工する体験も行われ、絵本や紙芝居などを通じて食べることの大切さを伝えるなど、子どもの食への興味の伸長を促している。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが身体を知り、大切にしてくくための、「生命の安全教育」を採り入れている</p> <p>「生命の安全教育」の一環として、まずは身体の仕組みや機能等の絵本を通じて、子どもが自分の身体を知り、その素晴らしさを感じることで、身体への興味や自分を大切にしたい気持ちなどが持てるようにしている。看護師がうんちを話題とした絵本等を準備し、どうしたら出る・出ないという仕組みになるのかを伝えたり、運動や生活リズムの大切さについてわかりやすく説明するほか、5歳児には骨の話しながら、お腹に骨がないため、相手の身体を叩いたりすることが危ないことを伝えるなど、子どもがより身近に感じ、理解が深まるよう工夫している。</p> <p>子どもが健康的で安全な生活が過ごせるよう、さまざまな支援を行っている</p> <p>上記のほか、手洗い用の実験器具を使用し、手洗いの汚れや洗い残しが見てわかるようにし、日頃からの手洗いの正しい手順や方法を子どもたちが再確認をしている。また新型コロナウイルス感染症に関する正しい理解と予防のための話をしたり、5歳児には小学校での新しい生活様式を踏まえたマスクの着用や咳エチケットなどを伝えている。散歩や道路に出る時などは子どもたちに交通マナーやルールを知らせるほか、戸外活動の際には運動遊びや斜面を歩く活動などを積極的に採り入れ、自分の身体をコントロールする力や体幹バランスの向上にもつなげている。</p> <p>嘱託医や保護者との連携のもとで、子どもの健康管理や維持・向上に努めている</p> <p>嘱託医との随時の相談体制を整えるとともに、内科及び歯科の定期健診が行われており、子どもの発育状況や健康状態などの結果を保護者と共有している。入園時の説明や園・保健便りの発行によって、感染症やSIDSなどの保健に関する情報とその留意点などを保護者へ知らせるほか、食事・睡眠時の「密」や飛沫の防止などのコロナ対策を書面にまとめて園内掲示を行っている。また感染症が発生した場合には掲示板やアプリの発信を通じ、保護者に速やかに情報提供を行い、各家庭や園内での予防等への啓発にも取り組んでいる。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>各家庭の事情を踏まえた配慮と、育児・就労の両立の支援を行っている 送迎時の会話や連絡帳のやり取り、個人面談など日頃からのコミュニケーションを図り、各家庭の状況を把握し、それぞれに必要な配慮や支援ができるよう心がけている。また保護者の子育てや就労等に応じて柔軟に時間の変更を受け入れるほか、急な残業等による延長保育の利用とともに、アレルギーフリーの補食を準備して柔軟な対応が可能ないように配慮するなど、保護者・子どもの双方で安心できるような支援に努めている。その他にも、乳児用のエプロンと口拭きタオルは園で準備・提供することで、衛生面の向上と保護者の負担軽減に配慮している。</p> <p>懇談会や「みんなの声」のボードなどを通じて、園と保護者との相互理解を深めている クラス別の懇談会では資料や写真を用いて年間の方針や保育の報告など園の保育への理解が深まるようにしている。また玄関エントランスには「みんなの声」のボードを設置し、気になることや疑問点などを書いてもらい、園からの回答を添えるといった双方向のやり取りを行っており、今年度は保護者から寄せられた食生活に関する質問をもとにした栄養士の回答、園でのおすすめのレシピをまとめた冊子を発行している。その他、掲示板・ホワイトボードを活用して日々の活動内容を知らせるほか、月ごとで子どもたちの様子の報告も行っている。</p> <p>保護者同士が気軽に挨拶や会話ができるような機会と場の提供を行っている クラス別の懇談会では同年代の保護者の子育ての体験談、互いの悩みや聞きたいことを保護者同士で話し合ったり、担任を交えて会話をしたりして、さまざまな意見交換の場ともなっている。また運動会や発表会等の保護者参加の行事は、感染防止として人数制限やクラスごとの入れ替え制などの工夫を行ったうえで実施しており、子どもたちの成長を感じつつ、参加者同士での顔合わせや会話の機会となっている。園内には絵本コーナーや水槽を準備しており、親子の憩いや保護者同士の自然な交流の場ともなっている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域資源を活用した体験があり、地域の人との関わりも持たれている</p> <p>図書館の職員が来園し、4・5歳児向けに素話や紙芝居等の読み聞かせを行っているほか、高齢者施設に出かけ、年長児が劇やダンスなどを披露し、おじいちゃん・おばあちゃんに見てもらおうなどの交流を図っている。「ふれあい動物園」の開催時には地域の方を招いて園庭で一緒にヒツジ・ヤギ・鶏・モルモット・ウサギなどに触れる機会が設けられている。5歳児の遠足では例年電車を利用して出かけたが、今年度は近隣の妙見宮まで歩いて出かけたが、その後「しかの湯広場」で季節を感じながら、弁当を食べるといった経験も得られている。</p> <p>コロナ禍で中断しているものも含め、例年、地域ならではの活動や交流が行われている</p> <p>今年度は感染状況が治まっている時期に町内の保育所・幼稚園の5歳児が各小学校に出向き、グループに分かれて学校見学や教室での授業体験などを行っている。また感染防止の観点から一部中止となっているが、例年は子どもたちが職場体験やインターンシップで来園する中高生と関わったり、夏の「夕涼み会」で来園する地域住民や卒園児の親子と交流し、町の歯科衛生士や保健師による歯に関する講話や歯磨き指導も設けられている。5歳児は役場の裏の畑で大根の栽培・収穫も行い、活動の中で他園の5歳児や役場の農業係の方との交流も持たれている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	子どもたちが食事を楽しみ、おいしく食べることのできるさまざまな工夫がなされている	
内容①	昨年度来のコロナ禍により、例年実施していたバイキング形式の給食を、各クラスから食べたい献立を募るリクエストメニューに変更し、提供の日にはリクエストしたクラスの紹介をするなど、楽しい雰囲気づくりにも努めている。日々の提供時にもランチョンマットや簡単な装飾を施した紙コップを用いたり、お弁当の容器に盛りつけるなどの工夫を凝らすとともに、天気の良い日は風や気温等と状況を見て、テラスにテーブルを並べて外気や日光を感じながら食事を味わえるようにするなど、子どもたちが楽しく食事できるように、さまざまな工夫を行っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	質の向上を目指す職員主体のチーム活動がさまざまに展開されている	
内容②	職員による質の向上を目指す各チームの活動が行われている。安全・衛生面に関する各マニュアルの確認・更新と現場での活用に向け、係担当の確認及び会議での読み合わせによって課題や変更点などを抽出しており、内容によってはグループ討議や実践形式を採り入れながら、組織内での周知とマニュアルの最適化の両立を計画的に進めている。また家庭での食習慣や育児のヒントにつながるよう、おすすめのレシピの情報提供と、保護者からの質問と栄養士の回答を冊子としてまとめており、園の玄関及び町役場に常備し、保護者・地域の方々へ提供している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	園内研修では自園の保育やその強みなどについて、職員が話し合いを重ねている	
内容③	園内研修では職員が小グループに分かれて話し合い、気づきの促進・共有やそれらを通じた質の向上に取り組んでいる。昨年度は自園の保育観の確立をテーマに園の保育を検証し、今年度はその成果も活かし、園の「アピールポイント」の明確化を図っている。園や周辺の自然環境について、魅力や特色の抽出・整理や、国の指針の示す幼児期の望ましい育ちとの関連の確認を行うとともに、それらをまとめた広報資料の作成も進めている。また行事についても、子どもたちの園での生活や成長において、どのような意義・役割があるかなどを話し合っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園周辺の豊かな自然環境を活用して行われるさまざまな活動や体験を通じて、心身ともに多方面への育ちを促している
	内容	春と秋には植物や昆虫に親しみ、夏は川遊びや水遊びを楽しみ、冬は自然にできた氷や霜柱を観察したり、落ち葉や木の実等の自然物を使った制作を行うなど、周辺の豊かな自然環境を活用し、四季折々の遊びへと展開させている。日頃から近接する里山などに出かけ、探索活動を通じて自然で遊ぶ楽しさを感じたり、秘密基地作りや丸太遊びなどで身体を動かし、鬼ごっこなどのルールのある遊びにも取り組むなど、さまざまな活動を行う中で、危険を知り自分の身を守ることや、空間認知能力や遠近感、挑戦する気持ちなど、多様な育ちが得られている。
2	タイトル	積極的に行われる戸外活動を軸に体力等の育ちを促しながら、活動・食事・休息などの生活リズムが身につくよう取り組んでいる
	内容	雨天以外の日には登園後に子どもたちが園庭に出られるようにするほか、積極的に戸外に出かけて近隣の施設や山に遊びに行っている。外から帰り、着替えた後は旬の食材を中心とした食事を摂り、午睡の時間には個々の体調に合わせた休息をとれるようにしている。また午睡の後は保育室と園庭を自由に行き来できるようにし、おやつを食べ終えた子どもから日没まで好きに遊べるようにするなど、日々の積極的に戸外で身体を動かす活動を軸に、食事・休息のサイクルを構築し、子どもたちの体力等を養うとともに、生活リズムが整うよう取り組んでいる。
3	タイトル	保護者とのコミュニケーションや情報発信など、さまざまな配慮や工夫を行いながら、より良い運営と保護者との信頼関係の構築に努めている
	内容	園に集う人々が楽しく安心して過ごせるよう、日頃から積極的な挨拶や声掛けなどを行うほか、送迎時の会話や面談などで各家庭の意向や状況を把握し、それぞれに寄り添った支援に努めている。また行事後のアンケートや第三者評価に伴う利用者調査、玄関エントランスに設置した「みんなの声」など、保護者の意見等を積極的に把握し、よりよい園運営の検討と改善に取り組んでいる。さらに日々や月ごとの子どもの様子を保護者へ報告したり、懇談会や行事等を通じて子どもの成長を共有するなど、保護者との信頼関係を深められるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育室の環境設定に組織的に取り組み検討を重ね、より子どもたちの発達に寄与する環境づくりを行いたいと考えている
	内容	保育室には子どもの手の届く高さの棚に多様な玩具が用意され、敷物やパーティションにより場所を区切り、遊びのコーナーを設置することで、子どもたちが自分で遊びを見つけ、集中して遊び込めるよう工夫されている。保育環境に関する研修等を行い、職員の知見の蓄積に努めるとともに、玩具の種類や棚の配置など環境構成の検証を重ね、必要に応じて棚や玩具の手作りでの作製もなされている。これらについて、フロアごとに行われる会議等において検討をさらに深め、より子どもたちの発達を促す環境づくりにつなげたいと考えている。
2	タイトル	今後の事業継続の観点も踏まえ、園の魅力を改めて検討し、保護者や地域への発信に活かしてゆくことを課題と考えている
	内容	地域内の少子化の進行による今後の利用ニーズの縮小が経営上のリスクと認識されているほか、コロナ禍の影響で保護者や地域に園の保育を発信する機会づくりにも制約が生じている。今後の事業継続の観点も踏まえ、今年度は園の「アピールポイント」の抽出を園内研修のテーマに、職員間で話し合いを続けており、園の魅力の保護者や地域への発信に活かすべく、取組のさらなる進展を期待したい。また組織全体で自園の保育の価値の再理解に取り組むことは、経年の課題としている、園としての保育観の確立にもつながるものと思われる。
3	タイトル	職員が闊達に話し合える組織の文化を保ちつつ、円滑なコミュニケーションや職員集団としての同僚性を保つための配慮にも努められたい
	内容	上記の保育環境に関する検討、園の魅力の抽出と再確認を目指しての園内研修など、職員が話し合い、共通理解の形成や現場の種々の質の向上につながる場が活発に持たれている。こうした組織の文化は以前からの園の特色の一つでもあるが、今回の職員自己評価では、上下間を含む組織内のコミュニケーションや同僚性について、肯定的な声とともに、課題を挙げる意見がさまざまに寄せられている。経営層もこれを受けとめ、環境の向上を図る意向であり、気兼ねなく思いや意見を発信し合える風土を保ちつつ、日頃のさまざまな場面での配慮にも努められたい。